

**バンダイ「ガシャポン」45周年プロジェクト**

**＼つくって・まわして・つなげて楽しめる！／**

**自分で組み立てる！高さ約220mmの“オール紙製”ガシャポン自販機**

**『ガシャポンペーパークラフト ガシャポンステーション』**

ガシャポン初の平面自販機「フラットガシャポン」から登場

5つの紙製カプセルが作れるパーツも付属&縦に連結できる全4カラー展開

～2022年12月第3週から順次発売予定～

株式会社バンダイ ベンダー事業部(本社:東京都台東区)が「ガシャポン」のブランドで展開しているカプセル玩具事業は、皆さまに支えられ、2022年で45周年を迎えました。その周年プロジェクトとして、「答えはガシャポンだ」をスローガンに、本年はさまざまな企画を毎月展開してまいりました。

このたび、本プロジェクトの取り組みの一環として、ガシャポン自販機「ガシャポンステーション」が初めてペーパークラフトになった『ガシャポンペーパークラフト ガシャポンステーション』(1回500円・税10%込、全4種)を、12月第3週から順次、全国の玩具売り場、量販店、家電店などに設置されたフラットガシャポン自販機にて発売します。

平面商材が払い出されるガシャポン自販機「フラットガシャポン」は、2022年2月から導入開始し、全国2,800店舗(2022年10月末時点)に設置されています。本商品は「フラットガシャポン」専用商品で、1種につき4枚の台紙入りペーパークラフトです。台紙のパーツを組み立てると全高約220mm、全幅約80mmの「ガシャポンステーション」本体が完成します。本体には、付属パーツで作った紙製カプセルを入れることができ、ハンドルを回すと出てくる仕様となっています。また、2つの本体を縦に連結することが可能で、実際に街中に設置されているガシャポン自販機を再現してお楽しみいただける完全オリジナル商品です。

今後も皆さまに「ドキドキ・ワクワク」を届けられるよう、時代とともに進化するバンダイの「ガシャポン」に、ぜひご注目ください。



**『ガシャポンペーパークラフト ガシャポンステーション』**

## ■商品詳細

商品名	ガシャポンペーパークラフト ガシャポンステーション
発売日	2022年12月第3週から順次発売予定
価格	1回500円・税10%込 ※払出し時
台紙サイズ	縦約297mm×横約210mm
対象年齢	15歳以上
素材	紙
ラインアップ	全4種(※1種4枚シート入り) ① ガシャポンステーション(白) ② ガシャポンステーション(黒) ③ ガシャポンステーション(青) ④ ガシャポンステーション(オレンジ)
主な販売先	全国の玩具売場、量販店、家電店などに設置されたフラットガシャポン自販機
商品詳細	<a href="https://gashapon.jp/flatgashapon/">https://gashapon.jp/flatgashapon/</a>



①ガシャポンステーション(白) ②ガシャポンステーション(黒) ③ガシャポンステーション(青) ④ガシャポンステーション(オレンジ)

## ■開発担当者コメント

『ガシャポンペーパークラフト ガシャポンステーション』は、本体もカプセルも全て紙で作ることができる、“オール紙製”ガシャポン自販機です。組み立て可能な紙製カプセルが付属したペーパークラフトのガシャポン自販機は、バンダイ初の試みです。ペーパークラフト台紙のパーツは総計24個で、組み立てると、全高約220mm、全幅約80mmの「ガシャポンステーション」本体1つと、紙製カプセル5つが完成します。

ガシャポン好きな方からペーパークラフト好きな方まで、幅広い層の皆さまに楽しんでいただき、また、一緒に組み立てることで親子のコミュニケーションにも役立てていただける商品となっております。

- ✓ ポイント1: ハンドルを回すと紙製カプセルが出てくるギミックを再現。
- ✓ ポイント2: 本体上部が連結箇所になっているため、2つの本体を上下に並べて連結が可能。



『ガシャポンペーパークラフト ガシャポンステーション』

開発担当

株式会社バンダイ ベンダー事業部  
 企画・開発第三チーム マネージャー  
 福原 進之介(ふくはら・しんのすけ)

■組み立て工程

**ガシャポンステーションの組み立てかた**

●図を参考にして同じ番号同士を順番に差し込んで組み立てます。  
 ●各パーツは、「たにおり」の記載がある箇所をのぞき、折り目を「やまおりに折ります。あらかじめ折っておくと組み立てやすくなります。  
 ●パーツはゆっくりに取り外ししましょう。

【セット内容：クラフトペーパー・・・4枚】  
 クラフトペーパー(1) クラフトペーパー(2) クラフトペーパー(3) クラフトペーパー(4)  
 ※セット内容の画像はイメージです。作り方は4種同じとなっております。

【準備するもの】  
 ●のり  
 ●セロテープ

**1 ハンドルパーツの組み立て**  
 POINT) 組み立て後、番号①・②・③・④のツメをテープ止めすると扱いやすくなります。

**2 内部の組み立て**  
 ※ハンドルパーツは回ります。

**3 本体の組み立て**  
 ※外側に折ります。

**4 前面の組み立て**

**5 底面の組み立て**

**6 上部の組み立て**  
 本体の完成

**7 カプセルの組み立て**  
 ※カプセルは斜線部分をのりつける必要があります。  
 ※カプセルは本体背面の穴から入れます。  
 ※ハンドルを回すとカプセルが出てきます。

遊び方





## ■「フラットガシャポン」とは

「フラットガシャポン」は、ガシャポン史上初の最大 A4 サイズ・厚み 1 cm までの平面商材が出てくるガシャポンマシンです。既存のカプセル自販機(※)の商品補填カートリッジ(オプションケース)を交換することで、厚み 1cm までの平面商材が販売可能になります。何が出てくるか分からないガシャポンの「ドキドキ・ワクワク」はそのままに、サイズや厚みのバリエーション豊かな商材を販売しており、2022 年 2 月の導入開始から、クリアファイルや色紙、カレンダーなど 50 を超える商品(2022 年 12 月時点)を展開しています。

「フラットガシャポン」自販機詳細:

<https://gashapon.jp/flatgashapon/>

(※)「フラットガシャポン」の使用に当たっては、バンダイ製カプセル自販機「ガシャポンステーション」が別途必要となります。



## ■参考情報

「ガシャポン自販機」のペーパークラフトは、これまでに二度、児童書の付録として登場しています。1 回目は 2018 年 10 月号『幼稚園』(小学館)の付録として登場した、2001 年から展開しているガシャポン自販機「カプセルステーション」で、発売後すぐに完売し SNS でも話題になるなど、大きな反響をいただきました。また、2 回目は 2022 年 12・1 月号『小学 8 年生』(小学館)の付録として登場した初代ガシャポン自販機「BVM100」で、Amazon 雑誌こどもカテゴリ 1 位(2022 年 11 月 2 日時点)を獲得、大変好評いただいております。

## ■バンダイ「ガシャポン」45周年プロジェクト「答えはガシャポンだ」

皆さまがちょっと気になるあんなことやそんなことの答えが、「ガシャポン」で見つかるかもしれない。そんな思いでさまざまな企画を予定しています。特設サイトでは、プロジェクト活動の紹介ページのほか、バンダイ「ガシャポン」の45年間の歴史を振り返る「45周年の歩み」ページを公開しています。

「ガシャポン」45周年特設サイト: <https://gashapon.jp/45th/>

## ■「ガシャどこ？PLUS」で気になるアイテムや取り扱い店舗をチェック！

「ガシャどこ？PLUS」を使えば、商品名や店舗名で販売状況を確認することが可能です。気になるアイテムを売っているお店や近くのお店の販売状況を簡単検索！ぜひご利用ください。

ガシャどこ？PLUS:

[https://gashapon.jp/shop/gplus\\_list.php](https://gashapon.jp/shop/gplus_list.php)



### 【参考】バンダイのカプセルトイ事業「ガシャポン」とは…？

1977年、バンダイは、  
当時20円の自販機が主流だったカプセルトイ市場に、  
異例の100円機で参入しました。  
ハンドルを「ガシャ」と回すと玩具が入ったカプセルが「ポン」と出ることから  
自社のカプセルトイを「ガシャポン」と名付けました。

多彩なキャラクターと時代のトレンドに合わせた豊富なラインアップを商品化し、  
発売以来、幅広いお客さまのニーズに「答え」続けています。

現在では、電子マネー対応自販機「スマートガシャポン」や  
インターネットでの商品購入が可能な「ガシャポンオンライン」も展開。  
これからもバンダイ「ガシャポン」は、カプセルトイ市場をリードしていきます。



※本資料に記載されている情報は2022年12月5日現在のものです。

※「ガシャポン」はバンダイの登録商標です。

©BANDAI